

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「マカーセッド慈善病院医療設備再整備計画」
贈与契約書署名式典

2020年2月17日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「マカーセッド慈善病院医療設備再整備計画」のための89,985米ドルの贈与契約署名式典が実施されました。

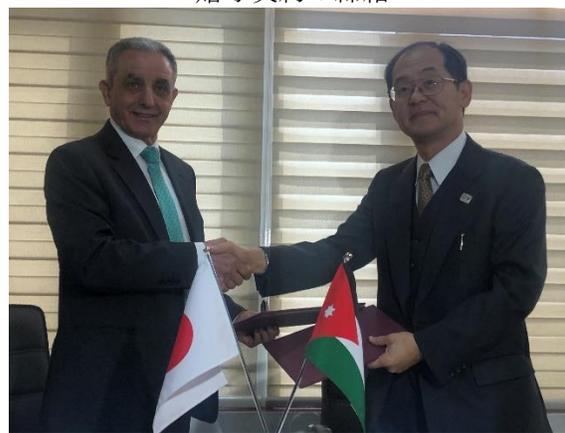
本計画は、2014年の創設以来、国籍に関わらず、経済的に困難な状況にあるヨルダン国内の人々に対し、低価格にて救急医療を含む総合医療サービスを提供してきた実績のあるマカーセッド慈善病院へ心エコー機能付き超音波診断装置1台及び医療用ベッド20台を再整備することにより、難民をはじめとする貧困層住民への医療サービスの質の向上に寄与し、全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」の実現に貢献することが期待されます。

同式典では、柳大使、アリー・アル・サアド・マカーセッド慈善病院事務局長が贈与契約書に署名し、アワニ・アル・バシル元社会開発大臣（同慈善病院理事）やアブド・スメラット同慈善病院理事長など大勢の式典出席者から日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

大使の挨拶



贈与契約の締結



病院内視察



2015年に供与した救急車の視察

